

大会記事

第 59 回日本動物学会中国四国支部大会が、日本植物学会中国四国支部および日本生態学会中国四国支部と合同で、2007 年（平成 19 年）5 月 19 日（土）-20 日（日）の両日鳥取大学で開催された。参加者は、3 学会合計で 211 名であった（うち動物学会の参加者は 65 名であった）。動物学会での発表は、ポスター発表 25 題、口頭発表 18 題であった。

なお、3 学会合同の公開シンポジウム「遺伝子からみた生物の分布と保全 - ブナ・コナラの仲間とブナ林にすむ動物の遺伝的分化と保全 -」を行なった。同時に、6 校の高校生によるポスターによる研究発表 27 題（うち動物関係は 6 題）が行なわれた。

記

1. 開催場所 鳥取大学工学部
2. 参加者数 65 名
3. 講演題数 43 題（口頭発表 18 題、ポスター発表 25 題）
および高校生ポスター発表 27 題
4. 行事

| | | |
|----------|------------|-------------|
| 5 月 19 日 | 役員会 | 11:30~13:00 |
| | ポスター発表 | 13:00~15:30 |
| | 高校生ポスター表彰式 | 15:45~16:00 |
| | 公開シンポジウム | 16:15~18:15 |
| | 懇親会 | 18:30~20:00 |
| 5 月 20 日 | 口頭発表 | 9:15~11:30 |
| | 総会 | 11:40~12:30 |

5. 総会（議長：鶴崎 展巨 氏）

○ 地元県委員挨拶
鶴崎鳥取県委員から挨拶があった。

○ 支部長挨拶
道端支部長から挨拶があった。

○ 報告事項

1. 理事・評議員報告

道端支部長より理事会ならびに評議員会の報告事項および審議事項について下記のように報告があった。

（1）平成 19 年 1 月 27 日に第一回理事・評議員会、3 月 27 日に第二回理事・評議員会が開催された。

（2）Zoological Science 誌の出版について、文部科学省からの補助が厳しくなってきたことから出版形態について再検討したいとの発言があった。

（3）社団法人に関する法律の改正に伴い、日本動物学会が公益社団法人となるか一般社団法人となるか選択することになるとの説明があった。

(4) 平成18年度全国大会(松江)について大変高い評価を受けた。

2. 庶務幹事報告

植木庶務幹事より下記の報告があった。

(1) 今年度支部役員について

日本動物学会中国四国支部 平成19年度役員 (敬称略)

| | | | |
|--------|-------|-------------|------|
| 支部長 : | 道端 齊 | (広島大・院理) | |
| 評議員 : | 安藤正昭 | (広島大・総科) | |
| | 富岡憲治 | (岡山大・理) | |
| | 松野 煒 | (島根大・生資科) | |
| | 道端 齊 | (広島大・院理) | |
| 県委員 : | 伊藤悦朗 | (徳島文理大・香川薬) | |
| | 藤島政博 | (山口大・理) | |
| | 加納正道 | (愛媛大・理) | |
| | 種田耕二 | (高知大・理) | |
| | 小阪敏和 | (広島大・院理) | |
| | 野地澄晴 | (徳島大・工) | |
| | 竹内 栄 | (岡山大・理) | |
| | 鶴崎展巨 | (鳥取大・地域) | |
| | 尾崎浩一 | (島根大・生資科) | |
| 企画委員 : | 川村和夫 | (高知大・理) | 発生学 |
| | 小林裕太 | (島根大・医) | 内分泌学 |
| | 酒井正樹 | (岡山大・理) | 生理学 |
| | 鶴崎展巨 | (鳥取大・教育) | 分類学 |
| | 野地澄晴 | (徳島大・工) | 発生学 |
| | 山中 明 | (山口大・理) | 生理学 |
| | 古川康雄 | (広島大・総科) | 生理学 |
| | 和多田正義 | (愛媛大・理) | 遺伝学 |
| HP委員 : | 松崎 貴 | (島根大・生資科) | |
| 会計監査 : | 花田秀樹 | (広島大・院理) | |
| 支部幹事 : | | | |
| 庶務 | 植木龍也 | (広島大・院理) | |
| 会計 | 森下文浩 | (広島大・院理) | |

(2) 支部会員数について

(社) 日本動物学会中国四国支部 会員数の推移

| | |
|--------|---------------|
| 平成13年度 | 288名 |
| 平成14年度 | 284名 |
| 平成15年度 | 292名 |
| 平成16年度 | 307名 |
| 平成17年度 | 293名 |
| 平成18年度 | 290名 |
| 平成19年度 | 300名 (5月1日現在) |

(内訳)

| | | | | |
|----|----|----|-----|---------|
| 愛媛 | 17 | 岡山 | 65 | |
| 香川 | 11 | 広島 | 107 | |
| 高知 | 15 | 山口 | 32 | |
| 徳島 | 11 | 鳥取 | 2 | |
| | | 島根 | 36 | (その他4名) |

(3) 支部大会の開催記録と開催予定

| | | | |
|----------|-----|----------|--------------|
| | 45回 | (平成5年度) | 香川 |
| | 46回 | (平成6年度) | 島根 |
| | 47回 | (平成7年度) | 徳島 |
| | 48回 | (平成8年度) | 岡山 |
| | 49回 | (平成9年度) | 愛媛 |
| | 50回 | (平成10年度) | 鳥取 (広島で植物学会) |
| | 51回 | (平成11年度) | 高知 |
| | 52回 | (平成12年度) | 広島 |
| | 53回 | (平成13年度) | 山口 |
| | 54回 | (平成14年度) | 香川 |
| | 55回 | (平成15年度) | 島根 |
| | 56回 | (平成16年度) | 徳島 |
| | 57回 | (平成17年度) | 岡山 |
| | 58回 | (平成18年度) | 愛媛 |
| 今回 : | 59回 | (平成19年度) | 鳥取 |
| 次回予定 : | 60回 | (平成20年度) | 広島 (高知で植物学会) |
| 次々回予定 : | 61回 | (平成21年度) | (高知) |
| 次々々回予定 : | 62回 | (平成22年度) | (山口) |

(4) 事業の共催・後援について

1. 無脊椎動物神経生物学シンポジウム
(平成18年9月1日開催)を共催
2. 山口大学理学部サイエンスワールド2006
(平成18年11月18~19日開催)を後援

3. 会計幹事報告

平成18年度支部会計決算について、森下支部会計幹事より下記のように報告があった。

平成18年度中国・四国支部 会計報告 (平成18年1月1日~12月31日)

収入の部

| | 予算 | 決算 |
|--|----|----|
| | | |

| | | |
|------------|-----------|-----------|
| 会費 | 200,000 円 | 207,200 円 |
| 第Ⅰ期 | | 140,000 円 |
| 第Ⅱ期 | | 67,200 円 |
| 郵便貯金利子 | 25 円 | 19 円 |
| 前年度からの繰り越し | 665,039 円 | 665,039 円 |
| 合計 | 865,064 円 | 872,258 円 |

支出の部

| | 予算 | 決算 |
|-----------------------|------------------|-----------------------|
| 事業費 | 564,000 円 | 288,000 円 |
| 支部大会援助金（愛媛） | 100,000 円 | 100,000 円 |
| 高校生ポスター発表援助金（愛媛） | 35,000 円 | 35,000 円 |
| 県例会援助金 | 29,000 円 | 29,000 円 |
| シンポジウム援助金（愛媛） （香川） | 200,000 円 | 100,000 円 24,000 円 |
| 企画費 | 200,000 円 | 0 円 |
| 評議員選挙費 | 40,000 円 | 24,993 円 |
| トナーカートリッジ購入 | | 16,537 円 |
| 白小封筒 | | 2,384 円 |
| 茶封筒他 | | 1,872 円 |
| コピー用紙 | | 4,200 円 |
| 通信運搬費 | 50,000 円 | 22,480 円 |
| 評議員選挙投票用紙発送費 | | 21,120 円 |
| 送金手数料（3件） | | 880 円 |
| その他通信費 | | 480 円 |
| 給料手当（支部幹事・HP 委員手当） | 30,000 円 | 30,000 円 |
| 謝金 | 5,000 円 | 5,000 円 |
| 消耗品費 | 5,000 円 | 562 円 |
| 雑費 | 5,000 円 | 0 円 |
| 小計 | 699,000 円 | 371,035 円 |
| 予備費（平成 19 年度へ繰り越し） | 166,064 円 | 501,223 円 |
| 合計 | 865,064 円 | 872,258 円 |

4. 会計監査報告

河原会計監査が欠席のため、代理の安藤評議員より、適正な会計処理が行われていることを確認したとの報告があった。

5. 県委員報告

特になし。

○ 審議事項

1. 次年度支部大会開催予定地

役員会での合議により、平成20年の全国大会を広島県で開催することに決定したことを説明し、承認された。

2. 本年度支部予算案

本年度支部予算案について、森下支部会計幹事より下記のように説明があり、これを原案通り承認された。

平成19年度中国・四国支部 予算案 (平成19年1月1日～12月31日)

予算案 (支出計画案)

| | |
|------------------------|-----------|
| 事業費 | 164,000 円 |
| 支部大会援助金 (鳥取・支出済み) | 100,000 円 |
| 高校生ポスター発表援助金 (鳥取・支出済み) | 35,000 円 |
| 県例会援助金 (支出済み) | 29,000 円 |
| 通信運搬費 | 10,000 円 |
| 給料手当 (支部幹事手当) | 30,000 円 |
| 謝金 | 5,000 円 |
| 消耗品費 | 5,000 円 |
| 雑費 | 5,000 円 |
| 計 | 219,000 円 |

3. 県委員・企画委員の活動について

道端支部長から企画委員の設置に関する経緯およびこれまでの活動に関する説明の後、県委員は現状通り1名とすること、企画委員はあらためて人選をおこなうことの2点を提案し承認された。

4. その他

森下会計幹事から支部の剰余金を支部活動基金としておおむね2～3年程度で支部企画などに支出し使い切る旨の提案がされ、承認された。